

世界に一つだけのロボットを 室積やまびこ文庫の放課後教室



高専生の指導で製作する小、中学生

徳山高専生が子どもたちを指導

光

世界に一つだけのロボットを作ろう——徳山高専のロボコン実行委員会(日野尚武委員長)のロボットづくり教室が十九日、光市室積公民館で開かれ、小中学生三十五人が高専生十二人の指導で有線ラジコンカーを組み立てた。できたロボットは十一月一日の高専祭で同実行委員会が開くロボットコンテスト、周南ロボコンに出場する。

この教室は同公民館のやまびこ文庫(三浦久美子代表)が毎月二回開いている放課後子ども教室として開いたもの。ラジコンカーは先端の磁石で空き街をつり上げるもので、基板などほんどの材料は高専生のオリジナル。子どもたちは高専生に指導されながら組

み立て、はんだ付けや電動糸ノコギリで板も切断

した。
五年生の日野委員長(20)は「ものづくりに少しでも興味を持ってほしかったが、みんな楽しそうだった。周南ロボコンも盛り上がりそう」と期待し、三浦さんも「いづもはお話し会や紙芝居だが、ものづくりに懸命な子どもの姿に感激した」と話していた。